



平成26年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ワイズテーブルコーポレーション
 コード番号 2798 URL <http://www.vstable.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 兼 社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員
 四半期報告書提出予定日 平成26年1月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 金山 精三郎
 (氏名) 武本 尚子

TEL 03-5412-0065

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第3四半期の連結業績(平成25年3月1日～平成25年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第3四半期	10,059	0.8	178	△21.2	233	18.2	124	△47.0
25年2月期第3四半期	9,977	6.3	225	72.2	197	45.3	235	—

(注) 包括利益 26年2月期第3四半期 80百万円 (△66.8%) 25年2月期第3四半期 243百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第3四半期	4,695.15	—
25年2月期第3四半期	8,918.55	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年2月期第3四半期	5,099	988	18.9	37,164.50
25年2月期	4,565	882	19.3	33,161.35

(参考) 自己資本 26年2月期第3四半期 963百万円 25年2月期 882百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年2月期	—	0.00	—	—	—
26年2月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年2月期の連結業績予想(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,512	△0.2	364	26.6	392	26.6	244	△52.2	9,194.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年2月期3Q	26,609 株	25年2月期	26,609 株
② 期末自己株式数	26年2月期3Q	— 株	25年2月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年2月期3Q	26,609 株	25年2月期3Q	26,452 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績等の見通しは、当社が現時点において合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は見通しと異なることがあります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、株価の上昇や円安基調が進み、企業の設備投資も上向きつつある等、景気は回復の兆しを見せているものの、個人消費が本格的に回復するには至らず、また、予定されている消費税増税による景気減速の懸念もあり、先行きは依然として不透明な状況が続きました。

外食産業におきましては、食材価格が高騰しつつあることに加え、「食」の安全・安心に対する社会的関心の高まりに伴い品質管理体制のより一層の強化が要求されるなど、業界内の環境は引き続き厳しい状況にあります。

このような状況の下、当社グループは、既存店舗の販売強化、FC加盟店数の拡大、新しい事業展開に向けての準備等を積極的に推進してまいりました。当第3四半期連結累計期間におきましては、カジュアルレストラン事業が引き続き業績に貢献しましたが、店舗閉店の影響のほか、食材原価の上昇や人件費の増加、法人税等調整額の計上等により、売上高は10,059百万円（前年同期比0.8%増加）、営業利益は178百万円（同21.2%減少）、経常利益は233百万円（同18.2%増加）、四半期純利益は124百万円（同47.0%減少）となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメントの状況は次のとおりとなっております。

①XEXグループ

「XEX」をはじめとする高級レストラン事業でありますXEXグループにつきましては、サービスの強化や販路の拡大、コスト削減等により既存店舗の業績は堅調に推移いたしました。平成25年4月に直営店「The Kitchen Salvatore Cuomo ROPPOINGI」を、同年6月に直営店「LE CHOCOLAT DE H」をそれぞれ閉店し、それに伴うコストを計上いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の同グループの売上高は3,845百万円（前年同期比3.5%減少）、営業利益は157百万円（同40.7%減少）となりました。なお、店舗数は直営店11店舗、FC店2店舗となりました。

②カジュアルレストラングループ

カジュアルレストラングループにつきましては、FC店の展開と既存店舗の販売強化を行い、直営店では、平成25年9月に「SALVATORE CUOMO & BAR KANAYAMA」を、FC店では、平成25年4月に「SALVATORE CUOMO & BAR TENJIN」、同年6月に「SALVATORE CUOMO & BAR SANNOMIYA」、同年9月に「SALVATORE CUOMO & BAR KAMATA」を出店いたしました。平成25年5月には、従来FC店であった「SALVATORE CUOMO & BAR NISHIARAI」及び「SALVATORE CUOMO & BAR KASHIWA」を譲り受け、直営店といたしました。また、直営店「PIZZA SALVATORE CUOMO SHONANDAI」を平成25年5月に閉店いたしました。なお、直営店「Soba GIRO」につきましては、平成25年8月に改装を行い、店舗名を「Soba & BAR An」に変更しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の同グループの売上高は6,208百万円（前年同期比3.7%増加）、営業利益は728百万円（同42.4%増加）となりました。また、店舗数は直営店34店舗、FC店32店舗となりました。

③その他

その他は、不動産賃貸事業等により構成されております。当第3四半期連結累計期間の同グループの売上高は4百万円（前年同期比32.4%減少）、営業損失は5百万円（前年同期は営業損失5百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産の状態

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は2,244百万円となり、前連結会計年度末に比べ553百万円増加いたしました。これは主として、現金及び預金の増加399百万円、売掛金の増加82百万円等によるものであります。固定資産は2,854百万円となり、前連結会計年度末に比べ19百万円減少いたしました。これは主として、繰延税金資産の減少40百万円、のれんの減少32百万円等によるものであります。

この結果、総資産は5,099百万円となり、前連結会計年度末に比べ533百万円増加いたしました。

②負債の状態

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は2,632百万円となり、前連結会計年度末に比べ428百万円増加いたしました。これは主として、買掛金の増加151百万円、短期借入金の増加219百万円等によるものであります。固定負債は1,477百万円となり、前連結会計年度末に比べ1百万円減少いたしました。これは主として、長期借入金の減少17百万円、資産除去債務の増加8百万円等によるものであります。

この結果、負債合計は4,110百万円となり、前連結会計年度末に比べ427百万円増加いたしました。

③純資産の状態

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は988百万円となり、前連結会計年度末に比べ106百万円増加いたしました。これは主として、四半期純利益の計上124百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は18.9%（前連結会計年度末は19.3%）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成25年10月11日の「平成26年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	603,206	1,003,046
売掛金	497,798	580,208
原材料及び貯蔵品	266,459	269,490
繰延税金資産	143,222	119,930
その他	194,624	277,057
貸倒引当金	△14,197	△4,776
流動資産合計	1,691,113	2,244,957
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,614,265	1,636,952
その他(純額)	183,582	199,644
有形固定資産合計	1,797,848	1,836,597
無形固定資産		
のれん	310,498	278,378
その他	60,260	58,238
無形固定資産合計	370,759	336,617
投資その他の資産		
敷金及び保証金	505,909	533,485
繰延税金資産	176,495	136,386
その他	36,759	20,501
貸倒引当金	△13,385	△9,162
投資その他の資産合計	705,778	681,209
固定資産合計	2,874,386	2,854,424
資産合計	4,565,500	5,099,381
負債の部		
流動負債		
買掛金	571,583	722,776
短期借入金	647,200	866,530
未払金	579,782	677,505
未払法人税等	24,022	21,050
ポイント引当金	17,195	20,497
株主優待引当金	38,226	27,207
店舗閉鎖損失引当金	26,106	—
その他	299,710	297,026
流動負債合計	2,203,828	2,632,594
固定負債		
長期借入金	942,400	924,837
繰延税金負債	5,027	4,525
資産除去債務	365,877	374,105

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
その他	165,977	174,408
固定負債合計	1,479,281	1,477,876
負債合計	3,683,110	4,110,471
純資産の部		
株主資本		
資本金	830,375	830,375
資本剰余金	898,683	898,683
利益剰余金	△762,210	△637,277
株主資本合計	966,847	1,091,781
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△12	24
為替換算調整勘定	△84,444	△128,051
その他の包括利益累計額合計	△84,457	△128,027
新株予約権	—	9,910
少数株主持分	—	15,245
純資産合計	882,390	988,910
負債純資産合計	4,565,500	5,099,381

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)
売上高	9,977,729	10,059,170
売上原価	8,400,289	8,457,063
売上総利益	1,577,439	1,602,106
販売費及び一般管理費	1,351,511	1,424,093
営業利益	225,927	178,013
営業外収益		
受取利息	385	331
協賛金収入	37,857	27,842
為替差益	—	51,405
その他	16,151	15,936
営業外収益合計	54,393	95,516
営業外費用		
支払利息	34,571	33,339
支払手数料	33,301	4,761
その他	15,137	2,251
営業外費用合計	83,010	40,353
経常利益	197,311	233,176
特別利益		
保険差益	—	11,104
特別利益合計	—	11,104
特別損失		
固定資産除却損	—	1,429
減損損失	—	2,985
店舗閉鎖損失	21,172	19,178
特別損失合計	21,172	23,594
税金等調整前四半期純利益	176,138	220,686
法人税、住民税及び事業税	51,055	33,477
法人税等調整額	△122,566	62,875
法人税等合計	△71,511	96,353
少数株主損益調整前四半期純利益	247,649	124,333
少数株主利益又は少数株主損失(△)	11,736	△599
四半期純利益	235,913	124,933

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	247,649	124,333
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△17	37
為替換算調整勘定	△4,248	△43,607
その他の包括利益合計	△4,265	△43,569
四半期包括利益	243,383	80,763
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	231,647	81,363
少数株主に係る四半期包括利益	11,736	△599

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 3
	XEX グループ	カジュアル レストラン グループ	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,983,279	5,987,145	9,970,424	7,304	9,977,729	—	9,977,729
セグメント間の内部売上高又は振替高	34,440	1,968	36,409	—	36,409	△36,409	—
計	4,017,719	5,989,114	10,006,834	7,304	10,014,138	△36,409	9,977,729
セグメント利益又は損失(△)	265,363	511,228	776,591	△5,117	771,474	△545,547	225,927

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、コンサルティング事業、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△545,547千円には、セグメント間取引消去額2,173千円、各セグメントに配分していない全社費用△547,720千円を含んでおります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「カジュアルレストラングループ」のセグメントにおいて、株式会社SALVATORE CUOMO JAPANの株式を追加取得したこと及び同社を吸収合併したことによるのれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては、342,619千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 3
	XEX グループ	カジュアル レストラン グループ	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,845,620	6,208,610	10,054,231	4,939	10,059,170	—	10,059,170
セグメント間の内部売上高又は振替高	866	21,994	22,861	—	22,861	△22,861	—
計	3,846,487	6,230,604	10,077,092	4,939	10,082,031	△22,861	10,059,170
セグメント利益又は損失(△)	157,231	728,029	885,260	△5,265	879,995	△701,982	178,013

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△701,982千円には、セグメント間取引消去額771千円、各セグメントに配分していない全社費用△702,753千円を含んでおります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

金額的重要性が低いため、記載を省略しております。